

厚生労働科学研究費補助金 【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究
(分担)研究報告書

「地域一般住民の性サービスに関わる実態調査と受検勧奨」

研究分担者：土屋菜歩（東北大学東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門）

研究協力者：日高 庸晴（宝塚大学看護学部）、大北 全俊（東北大学医学系研究科医療倫理学分野）、渡會 睦子（東京医療保健大学医療保健学部）、堅多 敦子（東京都保健福祉局）、今村顕史（がん・感染症センター 都立駒込病院）

研究要旨

本研究では、幅広い年齢層の就労成人男性を対象に、性に関する意識と性行動の実態および HIV/エイズを含む性感染症の知識や受検行動を明らかにするべく、幅広い年齢層と業種の男性が勤務する企業を選定し、自記式無記名質問紙による横断調査を実施した。主な質問内容は、自認している性別、年齢、年収等の基本情報、過去 1 年以内の性交渉の有無、金銭の受け渡しを伴う性交渉の有無、HIV 感染症およびその他の性感染症に関する知識と受検経験の有無である。

倫理審査の承認後、平成 31 年 1 月 7 日～2 月 15 日の期間に調査票と説明文書を社内便で配布し、郵送で回収した。調査票の返送を持って調査への参加同意とみなした。601/1,198 名（50.2%）から返送があり、有効回答とみなした 596 名分（49.7%）を分析に用いた。回答者の年齢は平均 44 歳（中央値 46 歳、標準偏差 11.7）であり、40 代が最も多かった。男性との性交渉経験率は 0.3%、お金のやり取りを伴う性交渉経験率は 36%、その中で毎回コンドームを使用していた者の割合は 65.5%であった。派遣型の性風俗利用が店舗型の利用を上回っていた。HIV 検査の生涯受検率は 3.2%、その他の性感染症の受検率は約 10%であったが、病院や健診の検査に含まれていたことが受検のきっかけの大半を占めており、能動的な受検は少ないことが明らかになった。年齢や収入、1 か月に自由になるお金の額が金銭の受け渡しを伴う性交渉と有意に関連していた。検査を受けやすくなるための条件として、夜間休日、即日検査などの利便性に加え、「日常生活の中で、HIV や性感染症に関する情報提供の場が増えること」が回答として挙げられていた。日常生活、または職域での日常生活の中で、HIV や性感染症に関する情報提供、予防啓発が重要であることが示唆された。

A.研究目的

日本における新規HIV感染およびエイズ患者の年間報告数の合計は、近年、約1500件前後で横ばいで推移しており、検査を受ける機会を持たないままエイズを発症して報告される例が3割を占める状態が続いている。日本でのHIV感染者、エイズ患者の報告数の多くを占めるのは日本国籍男性であり、新規報告数の90%以上は

の年齢である。また、この数年梅毒が全国的に流行しており、陽性者報告数は10年前と比較し約10倍と急増している。梅毒の報告者数を男女別に見ると男性が女性の約3倍で推移しており、年齢層は女性が20歳代、男性が20 - 40歳代に集中している。梅毒急増の背景として性意識・行動の変化、性サービス業の形態の変化等の影響

が考えられるが、実態は明らかになっていない。

HIV感染症、梅毒のいずれも初期は自覚症状が乏しく、検査を受けるまで感染が分からないため、感染するリスクの高い行動（コンドームを使用しない性交渉、不特定多数との性交渉、売買春など性娯楽サービスの利用または従事）のある者は自発的に検査を受け、感染状況を把握することが望ましいとされている。HIV感染症、梅毒の新規感染・流行の大部分を男性が占めていることから、日本の一般男性、特に生産年齢人口に当たる年齢層の男性は、HIV/エイズおよびその他の性感染症の予防・啓発において最も重要な対象者層であると言える。しかし、成人男性を対象とした性関連意識、性行動、検査受検や関連要因に関する研究は限られており、この数年同様の大規模調査は行われていない。

今年度は、日本国内の企業で就労する成人男性に対して、HIV/エイズおよびその他の性感染症に対する意識と性行動、予防行動を明らかにすることを目的としたアンケート調査を行った。

B.研究方法

調査名：「日本の就労成人男性における HIV/エイズおよび性感染症関連意識と行動に関するアンケート調査」

研究デザイン：自記式質問紙（調査票）による横断調査

対象：国内 M 県 A 社（従業員約 1400 名）に勤務する 18 歳以上の成人男性

調査時期：平成 31 年 1 月 7 日～2 月 15 日

調査票の配布および回収方法：調査票、説明文書、返信用封筒の入った封筒（宛先の個人名無し）を社内便で配布し、記入した調査票を研究者宛での郵送で回収した。説明文書および調査票には、調査票の返送により調査参加の同意とみなすこと、調査票は無記名であり個人情報と

の連結は一切ないことを明記した。

調査票の構成：①基本属性と生活習慣：性別、年齢、最終学歴、婚姻形態、職業種、年収、喫煙習慣、飲酒習慣

②性に関する意識と行動：性交経験の有無、同性との性交経験の有無、性的パートナーの有無と人数、過去1年間の金銭を介した性交渉の有無、金銭を介した性交渉のきっかけと場所、コンドームの使用状況

③HIV/エイズ、その他の性感染症に関する知識

④性感染症に関する検査の受検行動：検査受検経験の有無、受検経験有無それぞれについての理由

分析方法：各質問項目への回答について、度数分布と記述統計量を算出する。次に、金銭を介した性交渉経験、コンドーム使用の有無、性感染症検査受検の有無について、他の変数との関連を単変量および多変量ロジスティック回帰分析により分析した。

倫理的配慮：東北大学大学院医学系研究科倫理審査委員会の倫理審査、承認を受け実施した。

C.研究結果

調査票を配布した 1,198 名中 601 名

(50.2%) から返送があった。すべて白紙（すべての設問に無回答）での提出 5 名分を除いた 596 名分 (49.7%) を有効回答とし解析に用いた。

①**基本属性および生活習慣：**回答者の基本属性および生活習慣を表 1 に示した。自認している性別が男性である者は 593 名、その他と回答した者が 1 名であった。年齢は平均 44 歳（中央値 46 歳、標準偏差 11.7）、40 代の回答者が約 30% で最も多かった。最終学歴は高校卒業が 85% を超え大多数を占めていた。業種は製造が 85.0% と最も多く、技術、管理職が続いた。年収は 400 万円以下が 30.6% である一方、800 万円以上の者の割合は 8.1% であった。婚姻状況は未婚が 31.4%、現在結婚している者が 63.7% であっ

た。現在誰と一緒に住んでいるかという問いに対し、子どもを含む家族と同居しているという回答が過半数を占めた。一方、子ども以外の家族と同居している者が21.5%、配偶者またはパートナーと同居している者が11.3%、一人暮らしは8.7%であった。

生活習慣に関しては、毎日喫煙している者の割合が40.9%、週2、3回以上または毎日飲酒する習慣のある者の割合は60.3%に上った。1か月に自由に使えるお金の額を尋ねたところ、3万円から5万円という回答が最も多く、41.0%であった。10万円以上という回答も6.7%あった。

②性に関する意識と行動について

制に関する意識と行動についての質問に対する回答を表2に示す。これまでに女性または男性に性的魅力を感じたことがあるかという質問に対し、女性に対しては595名中586名

(98.4%)、男性に対しては3名(0.5%)が性的魅力を感じたことがあると回答した。うち2名は男性と性交渉経験があった。女性との性交渉経験があると回答した者の割合は93.6%であった。

過去1年間に性交渉があったと回答した373名(62.6%)について、性交渉の相手(複数回答可)と人数、性交渉の頻度をたずねた。過去1年間の性交渉の相手は、決まった(特定の)相手が296名、不定期またはその場限りの相手が24名、お金のやり取りを介した相手が51名という回答であった。過去1年間に性交渉を持った相手の人数は、平均1.84人(標準偏差4.34)で、1人という回答が75.5%と最も多く、続いて2人、3人が7%~8%であった。10人以上の人数の回答は約1.6%からあり、80人という回答もあった。過去1年間の性交渉の頻度は、月1回以下が約半数を占め、月2-3回程度が35.7%、週1回程度が11.5%であった。

これまでにお金のやり取りを伴う性交渉をしたことがあるかという問いに関しては、お金を

渡して性交渉をしたことがあるとの回答が36%であった。お金を受け取って性交渉をしたことがあるとの回答は1名のみであった。6か月以内に何らかの形でお金のやり取りを伴う性交渉をしたことがあると答えた者は、全体の約10%であった。

過去6か月以内にお金のやり取りを伴う性交渉をしたと回答した者(61名)に対し、そのきっかけ、形態、コンドーム使用の有無とその理由をたずねた。きっかけは、普段の生活圏内で自分で探したという回答が最も多く(72%)、出張先や旅行先で自分で探したという回答が約8~10%、知人や同僚に誘われたという回答が13%に上った。お金のやり取りを伴う性交渉の形態は、店舗型の性風俗を利用したものが42.6%、派遣型の性風俗が55.7%と、派遣型の性風俗利用が店舗型を上回っていた。約3%(数は2名)と割合は少ないが、インターネットやアプリを介して個人の性風俗を利用したという回答もあった。お金のやり取りを伴う性交渉で経験した性交渉のタイプを問う質問(複数回答可)には、95%が挿入を伴う性行為、70.5%が口を使う性行為、13.1%が挿入なしで口も使わない性行為を経験していた。コンドームの使用については、毎回使用していた者の割合が65.6%、使用することが多かったと回答した者は18%であったが、全く使用しなかった者も13%見られた。お金のやり取りを伴う性交渉でコンドームを使用しなかったことがあった場合の理由は(複数回答可)、挿入なしの性行為だったから、と相手から言われた時以外は使いたくないから、の2つが最も多かった。

③HIV/エイズおよび他の性感染症に関する知識について

HIV/エイズおよび他の性感染症に関する基本的な知識について、「はい」または「いいえ」の2選択肢から回答を求めた。

オーラルセックスでもHIVに感染する可能性があること、性感染症に罹患しているとHIVに

も感染しやすくなること、HIV の治療費を安く抑えられる社会制度があること、保健所で無料匿名の検査が受けられること、については正答率が 62–68%であった。また、HIV に感染していても症状が出ずに気づかない場合もあること、HIV/エイズで通院していても職場に伝わることはないこと、については正答率が 8 割–9 割であった。HIV に感染していても、きちんと服薬治療していれば他の人に感染させる確率は限りなく低くなる、という設問に対しては、正答率 37%と低かった。

HIV/エイズ以外の性感染症に関しては、80%が近年の梅毒の流行を知っており、決まった相手のみとの性交渉でも感染リスクがあること、ピルが性感染症の予防にはならないこと、性感染症の検査は一度受けて陰性だった場合でも二度と受けなくてもよいわけではないことを 80%以上が正答していた。

④HIV/エイズおよび他の性感染症の検査に関する意識と行動について

これまでに HIV 検査を受けたことがある者の割合は 3.2% (596 名中 19 名) であった (表 3)。検査を受けた場所は病院、クリニックが最も多く (15 名)、郵送での検査を利用した者も 1 名見られた。検査を受けたきっかけ (複数回答可) として最も多かったのは、「病院や健診の検査に含まれていた」というもので (11 名)、能動的に自ら受けた検査ではないものであった。最後に検査を受けた時期について尋ねたところ、3 年以上前と回答した者が約半数、調査時期の前 6 か月未満が約 2 割であった。

これまでに HIV 検査を受けたことがないと回答した者についてその理由を尋ねた。「感染している可能性がない」が最も多く (45.6%)、ついで「(検査を受ける) 機会がなかった」が 37.9%であった。「結果を知るのがこわい」、「検査場所がわからない」との回答が約 4%ずつあった。検査を受けやすくなるのに必要だと思う条件 (複数回答可) としては、「その日のうちに結果がわ

かる」が最も多く、次に「日常生活の中で、HIV や性感染症に関する情報提供の場が増える」、さらに「夜間に受けられる」「日曜祝日も受けられる」と続いた。

HIV 検査以外の性感染症の検査を受けたことがある者は 10.6%であった。検査を受けた場所は HIV 検査と同様、病院、クリニックが最も多く 84%を占めた。検査のきっかけ (複数回答可) は、「病院や健診の検査に含まれていた」と「気になる症状があった」がほぼ同数であった。最後に検査を受けた時期は、3 年以上前が 62%、調査時期の前 6 か月未満は 8%と少なかった。

これまでに HIV 検査以外の性感染症の検査を受けたことがないと回答した者についてその理由を尋ねた。「感染している可能性がない」が 45.8%、次いで「(検査する) 機会がなかった」が 31.7%であった。

⑤お金のやり取りを伴う性交渉の有無に関連する要因

お金のやり取りを伴う性交渉との関連を調べるため、年齢、婚姻歴、一緒に暮らしている人、年収、喫煙習慣、飲酒習慣、1 か月に自由になるお金の金額を変数として投入したロジスティック回帰分析を行った (表 4)。その結果、年齢、年収、1 か月に自由になるお金の 3 つが有意にお金のやり取りを伴う性交渉に関連していた。年齢が高く、収入や 1 か月に自由になるお金が多い群でお金のやり取りを伴う性交渉の経験あり者の割合が有意に高かった。

⑥HIV 検査受検経験の有無に関連する要因

HIV 検査受検経験の有無に関連する因子を検討するため、年齢、婚姻歴、一緒に暮らしている人、年収、喫煙習慣、飲酒習慣、1 か月に自由になるお金の金額を変数として投入したロジスティック回帰分析を行った。いずれの変数も有意な関連を認めなかった。

D. 考察とまとめ

日本国内の企業に就労する成人男性を対象とし、HIV/エイズおよびその他の性感染症に対する意識と性行動、予防行動を明らかにすることを目的としたアンケート調査を行った。

1198名中601名(50.2%)から回答を得ることができ、有効回答とみなした596名分について分析した。40代の回答者が最も多かったが、18歳から60歳台まで幅広い年齢から回答を得た。

男性との性交渉経験率は0.3%であり、国内の先行研究で得られている2%~よりも少ない結果であった。男性に性的魅力を感じると回答した者の割合も同様に少なかったため、このような結果になったと考えられる。お金のやり取りを伴う性交渉の経験率は36%、過去6か月間にお金のやり取りを伴う性交渉を経験していた者は全体の10%であった。お金のやり取りを伴う性交渉のきっかけは、普段の生活圏内で自分で探したという回答が最も多かったが、出張先や旅行先で自分で探したという回答が約8~10%、知人や同僚に誘われたという回答も13%あった。店舗型の性風俗利用を派遣型性風俗の利用が上回っており、時代による性風俗の形態の変化が反映された結果となった。95%が挿入を伴う性交渉を経験していた一方、コンドームを毎回使用していた者は65.5%にとどまった。「相手から言われた時以外はつけない」という回答があったことから、お金のやり取りを伴う性交渉の場で、能動的に予防手段としてコンドームを使用する意識は高くないことがうかがえた。

他の性感染症の知識に比較し、HIV/エイズに関する知識を問う質問で正答率が低かった。特に、治療をきちんとしていれば他者への感染の確率は非常に低くなるという、U=Uの概念にもつながる知識は正答率が低く、今後の予防啓発のポイントとなると思われる。HIV検査の生涯受検率は3.2%と、先行研究(無作為抽出を含む郵送質問紙調査、インターネット調査など)の

10%前後よりも低かった。その他の性感染症の生涯受検率は約10%であった。どちらも病院や健診の検査に入っていたことが検査のきっかけの大多数であり、情報を得て(または探して)自ら検査を受けたわけではないことが明らかになった。HIV/エイズおよび性感染症への意識が日本の一般男性の中で薄れてきているのか、今回の調査を実施した企業や地域の特性によるものなのかは、本研究のみでは判断できない。

多変量ロジスティック回帰分析の結果、お金のやり取りを伴う性交渉と有意に関連する因子は、年齢層が高いこと、年収および1か月に使えるお金が多いこと、であることがわかった。喫煙や飲酒などの生活習慣は今回の集団では有意な関連を認めなかった。検査受検に有意に関連する因子は現時点の解析では見つかっていないが、今後差アンケートの他の項目も考慮したより詳細な検討を進める予定である。

検査をうけやすくなる条件として、夜間や休日の検査、即日検査など検査自体の利便性に加えて「日常生活の中で、HIVや性感染症に関する情報提供の場が増える」という回答が多く得られたことは特筆すべきことである。病院や健診の場だけでなく、普段の生活、職域でもHIV/エイズや性感染症情報提供や予防啓発をする機会をより多く設けることが、検査受検を含む予防行動につながる可能性が示唆された。

謝辞：調査にご協力くださった回答者の皆様に心から感謝申し上げます。

E. 文献

木原正博, 木原雅子他：日本のHIV/STD関連知識、性行動、性意識についての全国調査—日本人のHIV/STD関連知識、性行動、性意識に関する性・年齢別分析。厚生科学研究補助金 HIV感染症の疫学研究班平成11年度報告書, 2000

金子典代, 塩野徳史, コーナ・ジェーン, 新ヶ

江章友, 市川誠一: 日本人成人男性における生涯での HIV検査受検経験と関連要因. 日本エイズ学会誌 14 : 99-105, 2012.

徐淑子、東優子他 性娯楽施設・産業を利用する男性に関する研究. 平成 18~19 年度厚生労働科学研究費補助金 (エイズ対策研究事業) 日本の性娯楽施設・産業に係わる人々への支援・予防対策の開発に関する学際的研究」総括・分担研究報告書 (研究代表 東優子) 2007 ; 2008

西村由実子、日高庸晴 日本の就労成人男性における HIV/AIDS 関連意識と行動に関するイン

ターネット調査. 日本エイズ学会誌 15 (3) 183-193, 2013

F.健康危険情報

該当なし

G.研究発表

1. 論文発表

なし

2.学会発表

なし.

H.知的所有権の出願・登録状況 (予定を含む)

なし

表1 基本属性および生活習慣 (N=596)

	度数(%)		度数(%)		度数(%)
自認している性別		年収		飲酒習慣	
男性	593(99.5)	400万円未満	182(30.5)	全く飲まない	71(11.9)
女性	0(0)	400万円以上	414(69.5)	ほとんど飲まない	92(15.4)
その他	1(0.2)			月2~3回飲む	73(12.3)
無回答	2(0.3)	婚姻状況		週2~3回飲む	102(17.1)
		結婚していない	187(31.4)	毎日飲む	257(43.1)
年齢		結婚している	379(63.6)	無回答	1(0.2)
~29歳	88(14.8)	別居中	5(0.8)		
30~39歳	95(15.9)	離婚した	22(3.7)	1か月に自由に使えるお金	
40~49歳	181(30.4)	死別した	2(0.3)	3万円未満	209(35.1)
50歳以上	229(38.4)	無回答	1(0.2)	3~5万円未満	244(40.9)
無回答	3(0.5)			5~10万円未満	102(17.1)
		居住状況		10万円以上	40(6.7)
最終学歴		1人暮らし	52(8.7)	無回答	1(0.2)
中学校	5(0.8)	恋人/パートナー/配偶者と2人	67(11.2)		
高校/高専	517(86.9)	子ども以外の家族と2人以上	128(21.5)		
専門学校/短大	20(3.4)	子どもを含む家族と2人以上	332(55.7)		
大学	44(7.4)	寮やシェアハウスなど多人数で	11(1.9)		
大学院	9(1.5)	その他	5(0.8)		
無回答	1(0.2)	無回答	1(0.2)		
		喫煙習慣			
職種		全く吸わない	308(51.7)		
営業職	1(0.2)	1か月以上吸っていない	23(3.9)		
製造職	506(84.9)	ときどき吸う	18(3.0)		
技術職	38(6.4)	毎日吸う	246(41.3)		
管理職	25(4.2)	無回答	1(0.2)		
事務職	17(2.9)				
その他	8(1.3)				
無回答	1(0.2)				

表2 性に関する意識と行動について

	度数(%)		度数(%)
女性との性交渉経験あり	558(93.6)	お金のやり取りを介した性交渉のきっかけ(複数回答可)	
男性との性交渉経験あり	2(0.3)		
過去1年間の性交渉経験あり	373 (62.6)	普段の生活圏内で自分で探した	44(72.1)
過去1年間の性交渉の相手(複数回答可) n=373		出張先で自分で探した	5(8.2)
決まった(特定の)相手	296(79.4)	旅行先で自分で探した	6(9.8)
不定期またはその場限りの相手	24(6.4)	知人、同僚に誘われた	8(13.1)
お金のやり取りをした相手	51(13.7)	上司に誘われた	0
無回答	2(0.5)	仕事上の接待として機会があった	0
過去1年間に性交渉をした人数※ n=373	1.8(4.3)	お金のやり取りを介した性交渉の形態 n=61	
過去1年間の性交渉の頻度 n=373		性風俗の店舗を利用	26(42.6)
月1回以下	190(50.9)	派遣型の性風俗を利用	34(55.7)
月2~3回程度	133(35.7)	インターネットやアプリを介して個人の性風俗を利用	2(3.3)
週1回程度	43(11.5)	バーやスナックの女性による性的サービスを利用	2(3.3)
週2~3回以上	7(1.9)	出会い系サイトなどで知り合った相手と	3(4.9)
お金のやり取りを介した性交渉の有無		その他	0
お金を渡して性交渉をしたことがある	213(35.7)	お金のやり取りを伴う性交渉のタイプ(複数回答可) n=61	
お金を受け取って性交渉をしたことがある	1(0.2)	挿入を伴う性行為	58(95.1)
上記のいずれもない	348(58.4)	自分または相手の口を使う性行為	43(70.5)
無回答	34(5.7)	挿入なしで口も使わない性行為	8(13.1)
お金のやり取りを介した性交渉の有無(過去6か月)		お金のやり取りを伴う性交渉時のコンドーム使用 n=61	
お金を渡して性交渉をしたことがある	60(10.1)	毎回使用した	40(65.6)
お金を受け取って性交渉をしたことがある	1(0.2)	使用することが多かった	11(18.0)
上記のいずれもない	497(83.4)	使用しない方が多かった	10(16.4)
無回答	38(6.4)	全く使用しなかった	8(13.1)

※平均 (標準偏差)

表3 HIV/エイズおよび他の性感染症の検査に関する意識と行動について

	度数(%)		度数(%)
HIV検査受検歴あり	19(3.2)	HIV検査を受けなかった理由(複数回答可)n=576	
HIV検査を受けた場所 n=19		結果を知るのが怖い	20(3.5)
病院、クリニック	15(78.9)	感染している可能性がない	272(47.2)
居住地の保健所・検査所	2(10.5)	あいまいなままにしておきたい	7(1.2)
居住地外の保健所・検査所	1(5.3)	検査場所がわからない	26(4.5)
郵送で	1(5.3)	機会がなかった	226(39.2)
海外で	0	お金がかかる	5(0.9)
HIV検査を受けたきっかけ(複数回答可) n=19		周囲にHIV感染者だと疑われる	3(0.5)
気になる出来事があった	4(21.1)	自分の性行動や性的指向を説明するのが面倒	10(1.7)
気になる症状があった	1(5.3)	その他	5(0.9)
パートナーのHIV感染がわかった	0	HIV検査が受けやすくなる条件	
病院や健診の検査に含まれていた	11(57.9)	家や職場から近い	2(0.4)
結婚を考えたため	0	家や職場から遠い	1(0.2)
定期的に検査している	0	プライバシーが守られる	25(4.8)
その他	3(15.8)	自分の性行動や性的指向を批判されない	3(0.6)
最後にHIV検査を受けた時期 n=19		無料である	41(8.0)
6か月未満	4(21.1)	詳しく説明が聞ける	10(1.9)
6か月以上1年未満前	1(5.3)	相談ができる	21(4.1)
1年以上3年未満前	5(26.3)	日曜祝日も受けられる	56(10.9)
3年以上前	9(47.4)	夜間に受けられる	56(10.9)
		その日のうちに結果がわかる	178(34.5)
		日常生活の中で、検査ができる場所など検査に関する情報が手に入りやすくなる	51(9.9)
		日常生活の中で、HIVや性感染症に関する情報提供の場が増える	66(12.8)
		その他	6(1.2)

表 4 お金のやり取りを伴う性交渉の有無に関連する要因

	OR(95%CI)	Adjusted OR(95%CI)
年齢		
50歳未満	1(ref)	1(ref)
50歳以上	1.71(1.22-2.41)*	1.58(1.09-2.28)*
年収		
400万円未満	1(ref)	1(ref)
400万円以上	2.57(1.72-3.85)*	2.68(1.75-4.11)*
婚姻歴		
結婚していない	1(ref)	1(ref)
結婚している	0.78(0.55-1.10)	0.75(0.47-1.21)
居住		
一人暮らし	1(ref)	1(ref)
恋人/パートナー/配偶者と2人で住んでいる	0.37(0.17-0.79)*	0.45(0.19-1.06)
子ども以外の家族と2人以上で住んでいる	0.64(0.33-1.23)	0.64(0.32-1.27)
子どもを含む家族と2人以上で住んでいる	0.53(0.29-0.95)*	0.66(0.33-1.34)
寮やシェアハウスなどで多人数で住んでいる	0.38(0.09-1.57)	0.44(0.10-1.99)
その他	0.67(0.10-4.33)	0.61(0.09-4.36)
1か月に自由になるお金		
3万円未満	1(ref)	1(ref)
3~5万円未満	1.52(1.02-2.27)*	1.39(0.91-2.12)
5~10万円未満	2.22(1.36-3.64)*	2.00(1.16-3.44)*
10万円以上	2.36(1.18-4.70)*	2.24(1.03-4.88)*
喫煙		
なし	1(ref)	1(ref)
あり	1.06(0.76-1.49)	1.02(0.72-1.46)
飲酒		
なし	1(ref)	1(ref)
あり	1.19(0.81-1.74)	1.14(0.76-1.72)

*P<0.05

日本の就労成人男性における HIV/エイズおよび 性感染症関連意識と行動に関するアンケート調査

厚生労働科学研究費補助金・エイズ対策政策研究事業「HIV 検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究」の研究班では、18 歳以上の男性を対象とし、HIV/エイズと性感染症に関わる意識や行動を明らかにすることを目的としたアンケート調査を実施いたします。

調査結果は有効な HIV/エイズ感染予防啓発の対策・支援に生かされるよう、厚生労働省に報告されるほか、学会等で報告されます。調査のご参加は自由です。また、アンケートへの回答をもって調査にご同意いただいたものとさせていただきます。このアンケートは無記名でご回答・ご返送いただきますので、個人のプライバシーは守られます。調査ご参加の有無や回答の内容は職場に報告されることは一切ありません。また、調査ご参加の有無や回答の内容により職場で不利益を被ることは一切ありません。

ご協力をよろしくお願いいたします。

研究責任者： 土屋 菜歩
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1
問い合わせ先： 022 - 273- 6212

HIV/エイズや性感染症に関する検査・相談について：<http://www.hivkensa.com/>

【性に関する意識と行動について】

Q11. これまでに女性に対して性的魅力を感じたことがありますか。

1. はい
2. いいえ

Q12. これまでに女性と性交渉（セックス）をしたことがありますか。

ここで言うセックスとは、膣性交、フェラチオ、肛門性交、相互マスターベーションを指します。

1. はい
2. いいえ（→Q26に進んで下さい）

Q13. これまでに男性に対して性的魅力を感じたことがありますか。

1. はい
2. いいえ

Q14. これまでに男性と性交渉（セックス）をしたことがありますか。

1. はい
2. いいえ

Q15. 過去1年間に性交渉（セックス）をしたことがありますか。

1. はい
2. いいえ（→Q19に進んで下さい）

Q16. 過去1年間に性交渉（セックス）をしたのはどのような相手だったか、あてはまるものをすべて選んで下さい。

1. 決まった（特定の）相手
2. 不定期またはその場限り（不特定）の相手
3. お金のやり取りを介した相手

Q17. 過去1年間に性交渉（セックス）をした相手の人数を教えてください。

（ ）人

Q18. 過去1年間の性交渉（セックス）の頻度を教えてください。

1. 月1回以下
2. 月2～3回程度
3. 週に1回程度

Q23. あなたが経験したお金のやり取りを伴う性交渉（セックス）のタイプをすべて選んで下さい。

1. 挿入を伴う性行為
2. 自分または相手の口を使う性行為
3. 挿入なしで口も使わない性行為

Q24 お金のやり取りを伴う性交渉（セックス）をした際に、コンドームを使用しましたか。

1. 毎回使用した
2. 使用することが多かった
3. 使用しない方が多かった
4. 全く使用しなかった

Q25. お金のやり取りを伴う性交渉（セックス）でコンドームを使用しなかったことがあった場合、あてはまる理由をすべて選んで下さい。

1. 挿入なしの性行為だったから
2. 快感が損なわれるから
3. 雰囲気損なわれるから
4. その場にコンドームがなかったから
5. 相手から言われた時以外は使いたくないから

【 HIV/エイズについて】

正しいと思うものを選んで下さい。

Q26 HIV はフェラチオでは感染しない

1. はい
2. いいえ

Q27 HIV に感染していても症状が出ずに気づかないことがある

1. はい
2. いいえ

Q28. 性感染症（HIV以外）にかかっていると、HIVに感染しやすくなる

1. はい
2. いいえ

Q29. HIVに感染していても、きちんと服薬治療していれば他人に感染させる確率は限りなく低くなる。

1. はい
2. いいえ

Q30. HIVで通院しても、HIVに感染していることが病院から職場の上司に伝わることは無い

1. はい
2. いいえ

Q31. 保健所では自分の名前や住所を言わずに無料で HIV やその他の性感染症の検査を受けることができる

1. はい
2. いいえ

Q32. HIV の治療費を安く抑えられる社会制度がある

1. はい
2. いいえ

【HIV 以外の性感染症について】

正しいと思うものを選んで下さい。

Q33. 近年、日本では梅毒に感染する人の数が増えている

1. はい
2. いいえ

Q34. 決まった相手のみとのセックスなら、性感染症の感染は心配しなくともよい

1. はい
2. いいえ

Q35. 性感染症の検査は、一度受けて陰性だったら二度と受けなくともよい

1. はい
2. いいえ

Q36. ピルを飲んでいけば性感染症にはかからない

1. はい
2. いいえ

6. お金がかかる
7. 周囲に HIV 感染者だと疑われる
8. 自分の性行動や性的指向を説明するのが面倒だから
9. その他 ()

Q42. 検査を受けたことがあると答えた方、ないと答えた方どちらにもお聞きします。

検査を受けやすくなるのに必要だと思う条件をすべて選んで下さい。

1. 家や職場から近い
2. 家や職場から遠い
3. プライバシーが守られる
4. 自分の性行動や性的指向を批判されない
5. 無料である
6. 詳しく説明が聞ける
7. 相談ができる
8. 日曜祝日も受けられる
9. 夜間に受けられる
10. その日のうちに結果がわかる
11. 日常生活の中で、検査ができる場所など検査に関する情報が手に入りやすくなる
12. 日常生活の中で、HIV や性感染症に関する情報提供の場が増える
13. その他 ()

【HIV/エイズ以外の性感染症の検査について】

ここでいう性感染症とは、梅毒、クラミジア、淋病、ヘルペス、尖型コンジローマ、HTLV-1 感染症、B 型肝炎、C 型肝炎を含みます。

Q43. あなたはこれまでに HIV/エイズ以外の性感染症の検査を受けたことがありますか。

1. ある
2. ない (→Q47 へ進んで下さい)

Q44. 「検査を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。どこで受けましたか。

1. 病院、クリニック
2. 健診や人間ドック
3. 自分の住んでいる自治体の保健所、検査所
4. 自分の住んでいる自治体以外の保健所、検査所
5. 郵送で
6. 海外で

